

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 豊橋市立磯辺小学校 (※正式名称を記載)  
種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注1</sup>  
☐ 中学校 ☐ 中高一貫<sup>※注2</sup> ☐ 高等学校  
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校  
☐ 特別支援学校  
☐ その他 (例：小中高一貫 )  
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む  
所在地 〒441-8145  
愛知県豊橋市駒形町字丸山61  
E-mail isobe-e@toyohashi.ed.jp  
Website http://www.isobe-e.toyohashi.ed.jp/  
幼児児童生徒数 男子 325名 女子 255名 合計 580名  
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度＋活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「進んで学ぶ子、仲よく助け合う子、たくましく元気な子」を教育目標として、E S Dを「地域とともに磯辺を見つめ、学び、考えよう」ととらえ、E S Dの実践を通して、コミュニケーション能力、課題解決・追究能力、情報発信能力の育成を目標とした。

具体的には、総合的な学習や生活科を中心に、地域との関連性や地域の特色を柱に、①地域との関わり、②地域と取り組む防犯・防災活動、③地域の歴史と文化にふれる活動を行った。

### ① 地域との関わりに係わる活動

「行ってきます！」生活科の授業で2年生93名の大きなあいさつの声が学校に響いた。子どもたちが心待ちにしていた、サツマイモの苗のつる差しの日。学校の近くの畑に植え、11月に大きく育ったサツマイモを収穫し、みんなで活動をふりかえりながら食べる予定である。「上から土をかけようよ。」「もう少し深く入れた方がいいよ。」など、声をかけあったりする姿があった。老人会の方の優しい言葉かけで自信がなく、不安そうな子どもたちもつる差しに夢中になっていった。子どもたち、老人会、ママの会と三世代で一緒に活動ができ、貴重な時間をもつことができた。

その後、サツマイモの世話の仕方、観察の仕方など、課題を見つけ、それぞれが意欲的に学習に取り組む姿が見られた。

## ② 地域と取り組む防犯・防災活動に係わる教育

不審者が校舎内に侵入した緊急時を想定し、児童の安全を確保するための避難誘導の方法と不測の事態が生じたときにどのような対応をすればよいのかを学ぶ学習を行った。外部講師として、地域の警察署の方を招き、学校職員や子どもの動きの指導を受けた。

また、6年生が地震災害の恐ろしさを学び、また実際に起震車で対応することで、「自分の身は自分で守る」ことに気づかせる学習を行った。総合的な学習「セーフティ磯辺」を組み、地域の防災施設や家庭での避難時の動きなど、意欲的調べ、話し合うことができた。

## ③ 地域の歴史と文化にふれる活動に係わる学習

1年生では、お年寄りから学ぶ昔遊びの会を行った。昔の遊びを教えていただくことを通して、遊びの楽しさを味わったり、説明や指示をしっかりと聞いたり、わからないことを質問したりして、遊びを深めることを目標にした。

4年生は、磯辺小学校にあるムクロジの木についての総合的な学習を展開した。ムクロジに詳しい方を招き、自分たちが調べてきたことの発表やムクロジの話を聞く交流会をもった。

6年生は、社会科の戦争の歴史学習において、豊橋ユネスコ協会の方と豊橋の戦争遺跡について交流会をもった。豊橋公園に歴史の証人として今も残る当時の遺跡の紹介を受けた後、各グループに分かれて、戦争の悲惨さ、命の大切さをについて話し合った。



① の写真（2年芋のつる差し）



① の写真（2年芋の収穫）



② の写真（不審者対応訓練）



② の写真（6年防災学習）



③ の写真（4年むくろじ学習）



③ の写真（6年戦争体験交流会）

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- ・パンフレット「戦争遺跡ってなーに？」
- ・書籍「自分の身を自分で守るには」
- ・書籍「樹木図鑑」「ムクロジの木」「昔遊び」
- ・ウェブサイト「昔の遊び」

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

コミュニケーション能力，課題解決・追究能力，情報発信能力の育成を目指し，総合，生活，各教科に横断的に学習に取り組めるように教育課程を編成していく。教科書だけの学習ではなく，地域からも学ぶ学習に努めていく。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学校運営機構の中に，E S D部会を作る。構成メンバーとして，教務主任，総合的な学習主任，生活科主任，特活主任が中心となり，E S D学習を広めていく。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校教職員による自己評価や外部の学校評議員の方から毎年，活動の関係者評価を受けている。

今年度，自己・関係者ともにA評価をもらった。

《学校関係者の意見・要望》

・いろいろな経験をすることは非常に大切でよい。いろいろな経験をしたうえで興味を持ったことを自分で調べていくのはとても大切なことだと思う。

・体験学習の後，子どもたち同士の会話から次への期待も感じられるので，いろいろな体験ができる場の設定をお願いしたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学級や学年，学校だよりで，子どもたちの学習活動の様子を紹介。保護者より，多くの反響を得ている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）  
(200字程度)  
※チェック事項 2-3 に対応

今回，6年の社会科の学習の一環として，豊橋ユネスコ協会に交流をお願いした。来年度もお願いする予定。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)  
※チェック事項 2-4 に対応

豊橋市の市内小中学校がユネスコスクールに登録しているので，ブロック同士で，子どもの活動について話し合う機会をもった。(ブロック教務主任者会など)

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

当校では、むくろじ活動という活動があり、休み時間に子ども同士で活動している。内容は、自分たちが活動したい事を、自分たちで企画し、宣伝をし、実行するボランティア活動です。今年度 300 を超える企画が出された。（昨年度より増えている。）

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

- ・ 6 年生  
総合的な学習「セーフティ磯辺」において、校区全体の危険箇所や防災についての校区マップを地域の方と協力して作成する。
  - ・ 5 年生  
総合的な学習「ハートフル磯辺」で、住みよい街について、校区の老人ホームや介護施設に焦点をあてて、学習を組む。
- 4 年生のムクロジの木についてや、3 年生の農園学習、1 年生の保育園交流など、総合や生活、各教科において、活動する予定である。